

算数科

移行措置（平成22年度）への対応は、どのようにしたらよいか。

算数科については、現行の教育課程から新しい教育課程へと円滑に移行できるようにするため、平成21年度、22年度の移行期間中から、新学習指導要領の一部を追加するなどして先行して実施することとしている。

- 平成21年4月1日から平成23年3月31日までの間における小学校学習指導要領の特例を定める件＜平成20年文部科学省告示第98号＞

＜移行期の実践課題＞

- (1) 算数の学習指導では、内容の系統性や連続性に配慮する必要性から、移行期間中において学年間の指導計画を互いに関連付ける必要があること。
- (2) 各学年の内容の「算数的活動」については、教育課程に加えることができていることから、「算数的活動」を通した指導の工夫を進めること。
- (3) 授業時数についても次の通り、移行期間中から増加させることとしている。
 - 週当たりの授業時数：第1学年(週4時間)、第2学年以降(週5時間)
 - 年間授業時数：第1学年(136時間)、第2学年以降(175時間)
- (4) 移行期間中（平成22年度）の指導内容 (リンク)

小学校算数の移行措置について

- ※ 現行課程（明朝体（細字））は省略）に新課程のゴシック体（太字）を追加して指導
 ※ 明朝体（細字）の内容に付随する内容の取扱い（内取）は当然適用されない。
 ※ 【算数的活動】は、新学習指導要領の規定によることも可能

（第1学年）＜平成22年度＞

下線は、平成21年度と異なる部分

現 行 課 程	新 課 程
A 数と計算 (1) ア～オ 整数の意味と表し方 (100までの数など) (2) ア・イ 整数の加法・減法 (1位数、加法・減法の場面を式に表す) (3) 数の数え方の工夫 B 量と測定 (1) ア・イ 長さの比較 C 図形 (1) ア・イ 身近な立体	A 数と計算 (1) ア～オ 整数の意味と表し方 (100までの数など) カ 簡単な3位数 キ 数を十を単位としてみることに (2) ア・イ 整数の加法・減法 (1位数) ウ 簡単な2位数の加法・減法 B 量と測定 (1) ア・イ 長さ、面積、体積の比較 (2) 時刻の読み方 [→ 現行第2学年から移行] C 図形 (1) ア・イ ものの形(平面と立体) D 数量関係 (1) 加法・減法の場面を式に表す (2) 個数を絵や図などで表す

（第2学年）＜平成22年度＞

現 行 課 程	新 課 程
A 数と計算 (1) ア～エ 整数の表し方(3位数、4位数など) オ 簡単な表やグラフ (2) ア 加法と減法の相互関係 イ 2位数の加法・減法 ウ 加法・減法に関して成り立つ性質 (3) ア～ウ 整数の乗法 (乗法九九、乗法の場面を式で表すなど) B 量と測定 (1) ア・イ 長さの単位(mm, cm, m)と測定 (2) 時刻のよみ方 [平成21年度の移行措置で第1学年で指導済] C 図形 (1) ア いろいろな形 イ 三角形、四角形	A 数と計算 (1) ア～エ 整数の表し方(3位数、4位数など) 【内取3(1) 1万についても取り扱う】 オ 簡単な分数(1/2や1/4など) (2) ア 2位数の加法・減法 イ 簡単な3位数の加法・減法 ウ 加法・減法に関して成り立つ性質 (3) ア～ウ 整数の乗法 (乗法九九など) エ 2位数と1位数との乗法 B 量と測定 (1) ア 長さの単位(mm, cm, m)と測定 (2) ア 体積の単位(ml, dl, l)と測定 [→ 現行3学年から移行] (3) ア 時間の単位(日, 時, 分) [→ 現行3学年から移行] C 図形 (1) ア 三角形、四角形 イ 正方形、長方形、直角三角形 ウ 箱の形 D 数量関係 (1) 加法と減法の相互関係 (2) 乗法が用いられる場面を式に表す (3) 簡単な表やグラフを用いて表す

(第3学年) <平成22年度>

下線は、平成21年度と異なる部分

現 行 課 程	新 課 程
A 数と計算 (1) ア～ウ 整数の表し方(万の単位など) (2) ア～ウ 整数の加法・減法 (3位数の加法・減法など) (3) ア～ウ 整数の乗法 (2位数の乗法など) (4) ア～ウ 整数の除法 (除法が用いられる場合を式で表す) 1位数による簡単な除法(商が1位数) (5) ア・イ そろばん (数の表し方, 簡単な加法・減法) B 量と測定 (1) ア 長さの単位(km) イ かさ, 重さの単位と測定の意味 ウ かさの単位(ml, dl, l) エ 重さの単位(g, kg) (2) 計器による測定 (3) ア 時間の単位(日・時・分・秒) [→平成21年度の移行措置で第2学年で指導済] イ 時刻や時間の計算 C 図形 (1) ア 箱の形 イ 正方形, 長方形, 直角三角形 [→平成21年度の移行措置で第2学年で指導済] D 数量関係 (1) ア・イ 表と棒グラフ	A 数と計算 (1) ア～ウ 整数の表し方(万の単位など) 【内取3(1) 1億についても取り扱う】 (2) ア～ウ 整数の加法・減法 (3位数・4位数の加法・減法など) (3) ア～ウ 整数の乗法 (2位数, 3位数に2位数をかける乗法など) (4) ア～ウ 整数の除法 (1位数による簡単な除法(商が1位数)) <u>エ 除数が1位数で商が2位数の除法</u> [→現行第4学年から移行] (5) <u>ア 小数の意味や表し方</u> <u>イ 1/10の位までの加法・減法</u> [→現行第4学年から移行] (6) <u>ア・イ 分数の意味や表し方</u> <u>ウ 簡単な分数の加法・減法</u> [→現行第4学年から移行] 【内取3(6) 小数0.1と分数1/10などを数直線を用いて関連付けて扱う】 (7) ア・イ そろばん (数の表し方, 簡単な加法・減法) B 量と測定 (1) ア 長さの単位(km) イ 重さの単位(g, kg) 【内取3(7) 重さの単位(t)】 (2) 計器による測定 (3) ア 時間の単位(秒) イ 時刻や時間の計算 C 図形 (1) <u>ア 二等辺三角形, 正三角形</u> <u>イ 角</u> <u>ウ 円, 球</u> [→現行第4学年から移行] D 数量関係 (1) 除法が用いられる場面を式に表す (2) ア 数量の関係を表す式 <u>イ 口などを用いた式</u> (3) ア 表と棒グラフ

(第4学年) <平成22年度>

下線は、平成21年度と異なる部分

現 行 課 程	新 課 程
A 数と計算 (1) ア 整数の表し方(億, 兆の単位など) (2) ア・イ およその数(概数, 四捨五入) (3) ア～エ 整数の除法 (2位数などによる除法など) (4) ア 小数の意味と表し方(1/10の位) イ 小数の仕組みと数の相対的な大きさ ウ 小数の加法・減法(1/10の位) (5) ア・イ 分数の意味と表し方 B 量と測定 (1) ア・イ 面積の単位(cm^2, m^2, km^2) ウ 正方形・長方形の面積の求め方 (2) ア・イ 角の大きさの単位(度$^\circ$) C 図形 (1) ア 二等辺三角形, 正三角形 イ 角 ウ 円, 球 [→平成21年度の移行措置で第3学年で指導済] D 数量関係 (1) ア・イ 表と折れ線グラフ (2) ア 四則混合式, ()を用いた式 イ 公式の理解 (3) ア～ウ 資料の分類整理 (二次元表, 折れ線グラフ)	A 数と計算 (1) ア 整数の表し方(億, 兆の単位など) (2) ア, イ およその数(概数, 四捨五入) ウ 四則計算の結果の見積り [→和・差の見積りは現行5学年から 積・商の見積りは現行6学年から移行] (3) ア～エ 整数の除法 (2位数などによる除法など) (4) 整数の計算能力の定着 (5) ア 小数の仕組みと数の相対的な大きさ イ 小数の加法・減法 ウ 小数×整数, 小数÷整数 <u>(6) ア 大きさの等しい分数</u> <u>イ 同分母分数の加法・減法</u> [→現行5学年から移行] (7) そろばん(加法・減法) B 量と測定 (1) ア 面積の単位(cm^2, m^2, km^2) 【内取3(5) 面積の単位(a, ha)】 イ 正方形・長方形の面積の求め方 (2) ア・イ 角の大きさの単位(度$^\circ$) C 図形 (1) ア 直線の平行や垂直 イ 平行四辺形, ひし形, 台形 [→ 現行第5学年から移行] (2) ア 立方体, 直方体 イ 直線や平面の平行や垂直 [→ 現行第6学年から移行] 【内取3(6) 見取図, 展開図】 (3) ものの位置の表し方 D 数量関係 (1) ア 表と折れ線グラフ (2) ア 四則混合式, ()を用いた式 イ 公式の理解 ウ 数量を□や△で表し, 関係を式に表す (3) ア <u>四則計算の性質(整数, 小数など)</u> [→ 現行第5学年から移行] (4) ア・イ 資料の分類整理 (二次元表, 折れ線グラフ)

(第5学年) <平成22年度>

現 行 課 程

A 数と計算

(1) ア 整数の性質(偶数, 奇数)

(2) ア 整数・小数の記数法

(3) ア 小数×整数, 小数÷整数

[→平成21年度の移行措置で第4学年で指導済]

イ 小数の乗法・除法の計算の意味

ウ 小数の乗法・除法の計算の仕方と余りの大きさ

(4) ア 大きさの等しい分数

イ 整数及び小数の分数での表現

ウ 整数の除法の結果の分数での表現

エ 同分母分数(真分数)の加法・減法

【内取3(3) 真分数と真分数との加法及びその逆の減法を取り扱う】

(5) ア 和, 差の概数の見積り

[→平成21年度の移行措置で第4学年で指導済]

B 量と測定

(1) ア 三角形・平行四辺形の面積の求め方

イ 円の面積の求め方

[→平成23年度の新課程で第6学年で指導]

C 図形

(1) ア 直線の平行と垂直

イ 平行四辺形, 台形, ひし形

[→平成21年度の移行措置で第4学年で指導済]

ウ 図形の性質

エ 円周率の意味

D 数量関係

(1) ア 四則計算の性質のまとめ(整数, 小数など)

[→平成21年度の移行措置で第4学年で指導済]

(2) 百分率の意味

(3) 円グラフ, 帯グラフ

(4) 数量の関係の調べ方

下線は, 平成21年度と異なる部分

新 課 程

A 数と計算

(1) ア 整数の性質

イ 約数, 倍数

[→現行第6学年から移行]

【内取3(1) 最大公約数・最小公倍数】

(2) ア 整数・小数の記数法

(3) ア 小数の乗法・除法の計算の意味

イ 小数の乗法・除法の計算の仕方と余りの大きさ

ウ 小数の乗法・除法に関して成り立つ法則

(4) ア 整数及び小数の分数での表現

イ 整数の除法の結果の分数での表現

新4年2 A (6) イ 同分母分数の加法・減法

ウ・エ 分数の大きさ, 大小の比べ方

オ 異分母分数の加法・減法

カ 分数×整数, 分数÷整数

[→現行第6学年から移行]

B 量と測定

(1) ア 三角形・平行四辺形・ひし形・台形の面積の求め方

(2) ア 体積の単位(cm^3 , m^3)

イ 立方体及び直方体の体積の求め方

[→現行第6学年から移行]

(3) ア 測定値の平均

(4) ア 単位量当たりの大きさ

[→現行第6学年から移行]

C 図形

(1) ア 多角形, 正多角形

イ 図形の合同

ウ 図形の性質

エ 円周率

(2) ア 角柱や円柱

[→現行第6学年から移行]

【内取3(3) 見取図, 展開図】

D 数量関係

(1) ア 簡単な比例

(3) 百分率の意味

(4) 円グラフ, 帯グラフ

(2) 数量の関係の調べ方

(第6学年) <平成22年度>

下線は、平成21年度と異なる部分

現 行 課 程	新 課 程
A 数と計算 (1) ア 整数の性質(約数, 倍数) (2) ア・イ 分数の大きさ, 大小の比べ方 <u>ウ 異分母分数(真分数)の加法・減法</u> 【内取3(2) 真分数と真分数との加法及びその逆の減法を取り扱う】 [→新課程の5年2A(4)オの内容を指導] (3) ア 分数×整数, 分数÷整数 イ 分数の乗法・除法の計算の意味 ウ 分数の乗法・除法の計算の仕方 (4) ア 積, 商の概数の見積り B 量と測定 (1) およその面積 (2) ア・イ 体積の単位(cm^3, m^3)と測定 ウ 立方体・直方体の体積の求め方 (3) ア 単位量当たりの考え イ 速さの求め方 C 図形 (1) ア・イ 立方体, 直方体, 直線や平面の平行や垂直 [→平成21年度の移行措置で第5学年で指導済] ウ 角柱, 円柱 D 数量関係 (1) 比 (2) ア 比例の表とグラフ (3) 平均	A 数と計算 新5年2A(4)オ 異分母分数の加法・減法 (1) ア 分数の乗法・除法の計算の意味 イ 分数の乗法・除法の計算の仕方 ウ 分数の乗法・除法で成り立つ法則 (2) 小数及び分数の計算能力の定着 B 量と測定 (1) およその面積 (2) ア 円の面積の求め方 (3) ア 角柱・円柱の体積の求め方 (4) 速さの求め方 (5) メートル法の仕組み C 図形 (1) ア 縮図や拡大図 イ 対称な図形 D 数量関係 (1) 比 (2) ア 比例の式, 表, グラフ イ 比例の関係をを用いた問題解決 ウ 反比例 (3) ア 文字を用いた式(a, xなど) (4) ア 資料の平均 イ 度数分布を表す表やグラフ <u>(5) 起こりうる場合</u>

移行期間中の小学校算数の（用語・記号）について

※ 現行課程(明朝体(細字)は省略)に、新課程のゴシック(太字)を追加して指導

<平成22年度>

下線は、平成21年度と異なる部分

学 年	現 行 課 程	新 課 程
第1学年	一のくらい 十のくらい + - =	一の位 十の位 + - =
第2学年	たんい 直線 ×	単位 直線 直角 頂点 辺 面 × > <
第3学年	等号 <u>直角</u> ÷ [→平成21年度の移行措置で第2学年で指導済]	等号 <u>不等号</u> <u>小数点</u> <u>1/10の位</u> <u>数直線</u> <u>分母</u> <u>分子</u> ÷
第4学年	和 差 積 商 整数 数直線 小数点 分母 分子 帯分数 真分数 仮分数	和 差 積 商 以上 以下 未満 真分数 仮分数 帯分数 平行 垂直 <u>対角線</u> <u>平面</u>
第5学年	<u>平行</u> <u>垂直</u> <u>対角線</u> % [→平成21年度の移行措置で第4学年で指導済]	<u>最大公約数</u> <u>最小公倍数</u> <u>通分</u> <u>約分</u> <u>底面</u> <u>側面</u> 比例 %
第6学年	最大公約数 最小公倍数 約分 通分 <u>平面</u> <u>底面</u> <u>側面</u> : [→平成21年度の移行措置で第5学年で指導済]	線対称 点対称 :